

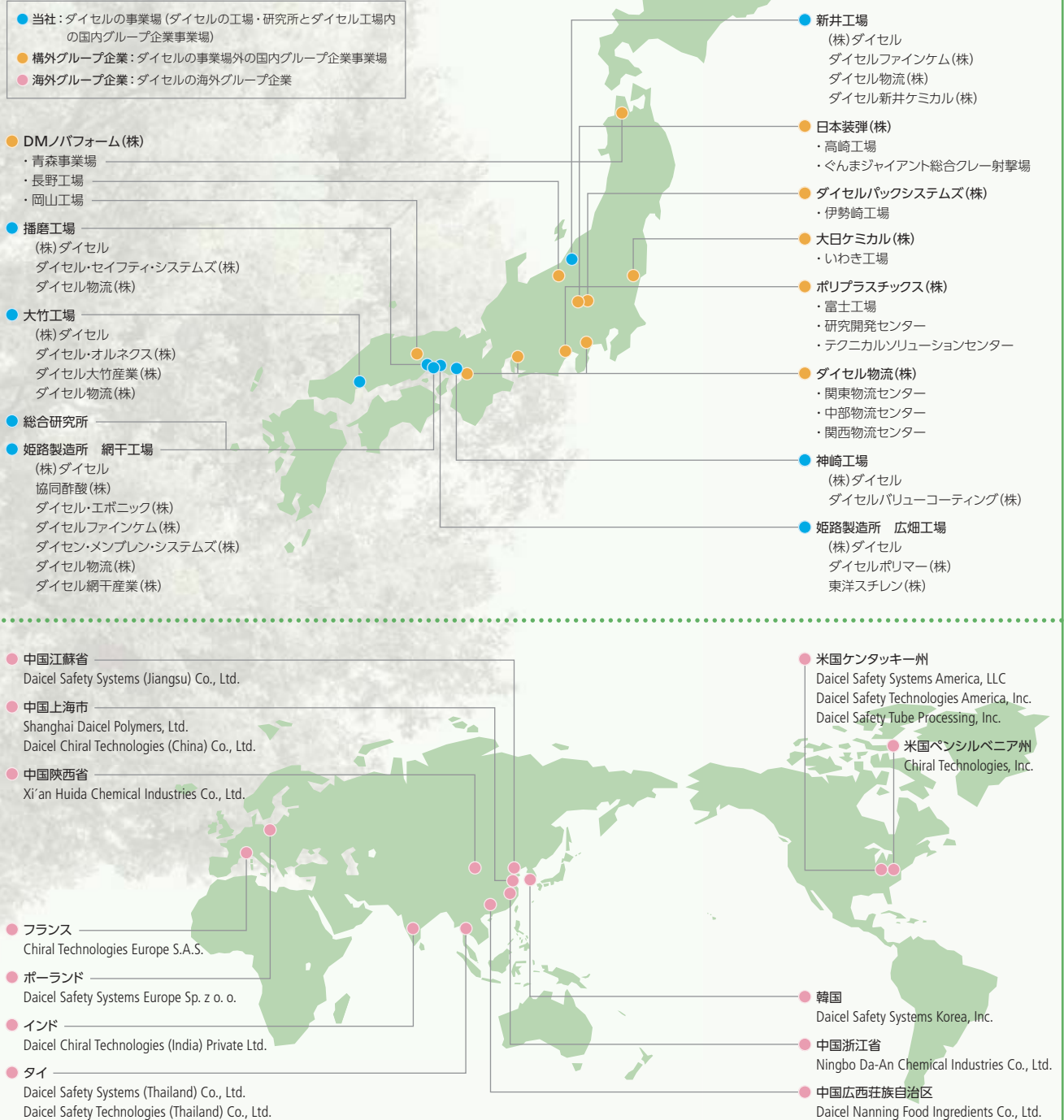


レスポンスブル・ケアとは、化学物質を製造または取り扱う事業者が化学物質の開発から廃棄に至るすべての過程において、自主的に「環境・安全・健康」面の対策を行い、活動の成果を公表し、社会との対話を行う活動のことです。レスポンスブル・ケアは、国際化学工業協会協議会 (ICCA) が推進し、1992年ブラジル地球サミット (国連環境開発会議) の「アジェンダ21」でも推奨されています。日本では、ICCAと連携して1995年に一般社団法人日本化学工業協会 (以下、日本化学工業協会) の中に日本レスポンスブル・ケア協議会 (JRCC: 現在、日本化学工業協会と統合されてレスポンスブル・ケア委員会として再編成) が設立され、多くの企業が参加してレスポンスブル・ケア活動を推進しています。



環境・労働安全衛生パフォーマンス集計対象

本集計は、製造または物流を業とする下記の事業場およびグループ企業のデータを対象としています。



ポリプラスチック (株) および Daicel Chiral Technologies (China) Co., Ltd., Shanghai Daicel Polymers, Ltd. を除く海外グループ企業は2013年1~12月のデータです。Daicel Safety Systems Korea, Inc. は2014年から集計対象となります。